

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 17 日現在

機関番号：34525

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2011～2012

課題番号：23660083

研究課題名（和文）インターネットによる子育て支援方法の構築に向けた研究

研究課題名（英文）The research towards an assembly of the aid-for-childcare way by an internet

研究代表者

井田 歩美 (AYUMI IDA)

関西福祉大学・看護学部・講師

研究者番号：70549203

研究成果の概要(和文):本研究の目的は、ソーシャルメディア上の発言内容を分析することで、母親の育児上の疑問や不安の様相を明らかにすることであった。結果、2011年度1年間の乳児の母親の書き込み件数は34万件を超え、疑問や不安は【児の栄養】が最も多く、その内容は児の成長、発達とともに変化していた。

研究成果の概要(英文): The purpose of this study was to analyze the content of an utterance on social media, and was making the question on a mother's child rearing, and the modality of uneasy into an obvious. The write-in number of the mother of the sucklings for one year exceeded 340,000 affairs in a sequence and the 2011 fiscal year, the question and the uneasy had [most a child's vegetative] and the content was changing with a child's outgrowth and the growth.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
交付決定額	1,200,000	360,000	1,560,000

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：看護学・生涯発達看護学

キーワード：インターネット，ソーシャルメディア，母親，乳児

1. 研究開始当初の背景

1990年頃より普及し始めたインターネットの利用は年々増加し、2009年末わが国のインターネット利用普及率は78.0%となった(総務省：2009)。一方、自宅に居ながら好きな時間にアクセスできるインターネットは育児期の母親にとって利便性に優れたものであり、多くの母親がソーシャルメディア上において情報収集や意見交換を行っている。日常的な育児の様子が、飾らない言葉で語られており、日々感じた児の発育状況や育児不安、自分の思いなど直接面と向かっては言いにくいことが多く書き込まれている。某教育関連企業が運営・管理をする口コミサイトでは、登録会員が数百万人を超え、“会議室”と呼ばれる掲示板に、日々膨大な数のアクセスがあり多くの発言がある。

2. 研究の目的

本研究の目的は、母親の育児におけるインターネット利用の実態と育児への影響について明らかにすることである。

まずは、ソーシャルメディア上の発言内容を分析することで、多くの母親が育児においてソーシャルメディアを利用しての情報収集、意見交換を行う動機につながる疑問や不安の様相を明らかにする。

3. 研究の方法

(1) 研究対象

本研究のデータは、共同研究機関である株式会社ベネッセコーポレーションが管理しているWebサイト『ウイメンズパーク』に投稿された1年間(2011年4月から2012年3月)の発言内容の提供を受けて実施した。『ウイメンズパーク』は、妊娠から出産、育児を中心とした日本最大級女性限定の口コミサ

イトである。育児期は、0～6カ月、7～12カ月、1歳から中・高校生までの子どもの年齢によって区分された約10の会議室がある。これらの1年間の発言件数が300万件と膨大な数であるため、本研究では、乳児をもつ母親の発言に限定し、分析を行った。

(2)倫理的配慮

株式会社ベネッセコーポレーションが管理・運営するサイトは、個人情報の保護に関して厳密な規約が定められている。発言内容は書き込まれた時点で匿名化されており、個人が特定されることはない。また、発言内容を調査、統計資料作成および研究企画開発に利用する場合、個人が特定できない資料とした上で、業務提携先等に提供する旨も明記している。会員は入会時にその規約に同意した上で入会している。

なお、本研究は、岡山大学大学院保健学研究科看護学分野倫理審査委員会で承認された(承認番号: D11-12)。また分析に当たっては十分な倫理的配慮のもとに提供されたデータは個人情報の範疇に該当しないよう文章を単語として切片化した上で解析を行った。

(3)分析方法

分析は、株式会社数理システム Text Mining Studio4.2 for Windows を使用し、定量的言語解析を行った。

(4)分析手順

①基本情報の分析

母親の発言月日や時間帯などの基本情報を分析した。

②発言内容の分析

発言内容を読み、児の月齢、性別、出生順位を抜き出し数値化した。発言タイトルと内容はテキストデータとして解析を行った。

③単語頻度分析

母親の発言タイトルと発言内容をそれぞれに出現する品詞〔名詞〕〔動詞〕〔形容詞〕等の頻度をカウントし、母親の不安・疑問の内容を分析した。

4. 研究成果

(1)発言の概要

①0～6カ月ママの部屋

2011年4月1日から2012年3月31日の1年間において書き込まれた発言数は232,200件であった。月別に分析すると、最も発言の多い月は3月であり、最も少ない月は9月であった。1週間の曜日別に分析すると月曜日から金曜日はいずれも全発言数の15～16%程度でほぼ一定の割合であったが、土、日曜日は10%前後と少なかった。

1日の時間帯を3時間毎に区切って分析す

ると「9-11時」「12-14時」「15-17時」「21-23時」は、ほぼ同じ約18%程度であった。「6-8時」は12,539件(5.4%)、「18-20時」は29,083件(12.5%)と少なく、最も少ない「3-5時」の深夜帯においても3,860件(1.7%)の発言があった。

②7～12カ月ママの部屋

2011年4月1日から2012年3月31日の1年間において書き込まれた発言数は109,314件であった。月別に分析すると、最も発言の多い月は3月であり、最も少ない月は12月であった。1週間の曜日別に分析すると月曜日から金曜日はいずれも全発言数の15～16%程度でほぼ一定の割合であったが、土、日曜日は10%程度と少なかった。

1日の時間帯を3時間毎に区切って分析すると「21-23時」が24.0%と最も多く次いで、「9-11時」「12-14時」「15-17時」が16～17%とほぼ同率であった。

(2)児の属性

①0～6カ月児の母親

母親の発言は最初のスレッドを立てた段階においては“教えて”“聞いて”“つぶやき”への発言数は36,639件であったが、一旦発言された後に発言者によって削除されたもの、もしくは予め規定された発言時のルールに反したためサイト管理者により削除されたものを除いた35,540件を分析した。

児の月齢を発言内容より分析すると、29,899件(84.1%)が明確となった。3カ月児、4カ月児、2カ月児の順になっていたが、各月齢は約14%前後の同率に分散していた。わずかではあるが、「0～6カ月ママの部屋」であるものの7カ月以降の乳児や幼児、小学生の母親と断定できる発言もあった。また妊婦の発言が754件(2.1%)、早期産児の場合には取って実月齢ではなく修正月齢を明示している発言、ごく少数ではあるが祖母や乳児をもつ母親の友人など母親以外の発言も見られた。

児の性別を発言内容より分析すると23,175件(65.2%)が明確となった。男児11,372件(32.0%)、女児11,759件(33.1%)だった。児の出生順位は8,885件(25.0%)が明確となり、第1子が6,155件(17.3%)だった。

②7～12カ月児の母親

母親の発言は最初のスレッドを立てた段階においては“教えて”“聞いて”“つぶやき”への発言数は36,639件であったが、一旦発言された後に発言者によって削除されたもの、もしくは予め規定された発言時のルールに反したためサイト管理者により削除されたものを除いた18,298件を分析した。

児の月齢を発言内容より分析すると、15,533件(84.9%)が明確となった。7カ月児、8カ月児、9カ月児の順に多かった。わずか

アにおける発言の分析一，第 39 回日本看護研究学会学術集会，2013 年 8 月 22～23 日予定，秋田

- ②井田歩美，合田典子，片岡久美恵，母親のインターネット利用と子育てにおける相談相手との関連性，第 52 回日本母性衛生学会学術集会，2011 年 9 月 29 日，京都
- ③井田歩美，合田典子，片岡久美恵，猪下光，K 市子育て支援事業に参加した母親のインターネット利用と育児困難感との関連性，日本家族看護学会第 18 回学術集会，2011 年 6 月 26 日，京都
- ④井田歩美，合田典子，片岡久美恵 Relationship between using the Internet and feelings of difficulty in raising children : 10th International Family Nursing Conference , 2011 年 6 月 25 日，日本京都

6. 研究組織

(1)研究代表者

井田 歩美 (Ida Ayumi)
関西福祉大学・看護学部・講師
研究者番号：70549203

(2)研究分担者

猪下 光 (Inoshita Hikari)
岡山大学大学院保健学研究科・教授
研究者番号：30223291
合田 典子 (Goda Noriko)
岡山大学大学院保健学研究科・教授
研究者番号：70225639